

Country of Origin: JP

Publication number: 5-20618

Publication date: 19 August 2003

Applicant: DEHARA KAEKO

The hanger for clothes bags characterized by having fabricated the skirt hanger for pinching one end of long clothes in the hook lower part of a hanger, and preparing the pinch which can rotate freely to a skirt hanger point in it.

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-20618

(43)公開日 平成5年(1993)3月19日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号 序内整理番号

F I

技術表示箇所

A 45 C 3/04

A 2119-3B

A 47 G 25/14

7137-3K

検索請求 有 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号

実開平2-80841

(71)出願人 999999999

出原 佳栄子

兵庫県神戸市灘区国玉通2丁目8-9

(22)出願日

平成2年(1990)7月30日

(72)考案者 出原 佳栄子

兵庫県神戸市灘区国玉通2丁目8-9

(54)【考案の名称】 衣装バッグ用ハンガー

(57)【要約】

電子出願以前の出願であるので

要約・選択図及び出願人の識別番号は存在しない。

1

【実用新案登録請求の範囲】

ハンガーのフック下部に、長尺の衣服の片端を
抉止する為の裾ハンガーを成形し、裾ハンガー先
端部に回動自在なピンチを設けたことを特徴とす
る衣裳バッグ用ハンガー。

【図面の簡単な説明】

第1図は本考案の実施例を示す斜視図。

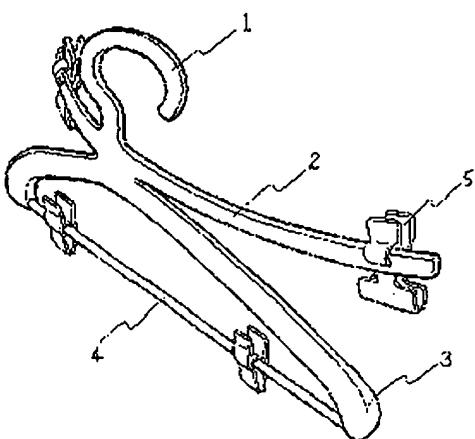
2

* 第2図は本考案を使用した状態を示す斜視図。

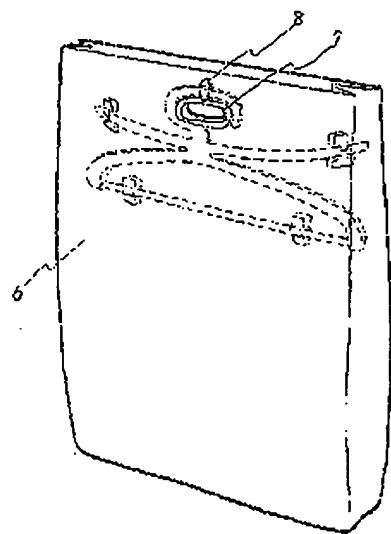
- (1)……フック
- (2)……裾ハンガー
- (3)……肩ハンガ
ー
- (4)……中ハンガー
- (5)……ピンチ
- (6)……衣裳バッ
グ
- (7)……把手孔
- (8)……フック用リング

*

第1図



第2図



【考案の詳細な説明】**(産業上の利用分野)**

本考案は、コート、スーツ、パンツ、ドレス、スカート等の衣服を入れて持ち運べる袋物に使用するハンガーに関するものである。

(従来技術)

従来は店頭で衣服を購入した際、或いは旅行で着替えの衣服を持ち運ぶ場合等に、ハンガーに吊るした衣服をビニール製の衣裳ケースに二つ折りにして内包し、ハンガー上部の係止部分を衣裳ケースより露出させて、把手として成形したものを使用するのが一般的であり、他に箱状の衣裳ケースもある。

(考案が解決しようとする課題)

従来の衣裳ケースを使用した場合、如何にも衣服を購入し、持ち歩いている様子が一見して判り、あまり見栄えの良いものではなかった。又ビニール等の通常の袋物では、皺にならずに衣服を入れることは不可能であり、丈夫な把手の付いた袋物でない限り衣裳の重量に耐え兼ねて把手部分が手切れる恐れがあった。

本考案は上記の点に鑑み成されたものであり、外見から衣服を入れていることがわからないもので、把手部分に過度な重量のかからない衣裳バッグ用ハンガーを提供することを目的とするものである。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するための本考案の要旨とする

ところは、従来のハンガーのフック下部に、長尺の衣服の片端を挾止する為の裾ハンガーを肩ハンガーよりも前方に湾曲成形し、裾ハンガー先端部に回動自在なピンチを設けたことを特徴とする衣裳バッグ用ハンガーである。

(作 用)

以上の如く構成された本考案の使用に際しては、肩ハンガー(3)及び中ハンガー(4)に掛けた長尺の衣服の片端を裾ハンガー(2)に設けたピンチ(5)で挾止し、ハンガーのフック(1)を衣裳バッグ(6)内側に有したフック用リング(8)に係止させる。本考案を持ち運ぶ際は、把手孔(7)に手を通しフック(1)を一緒に持つようとする。

(実施例)

以下本考案の実施例を図面に基づいて説明する。図面において、(1)はハンガーのフックを示し、把手を兼ねる為に通常のハンガーよりも持ちやすさを考えてやや橢円形状にする。フック(1)下部には裾ハンガー(2)を新たに成形し、肩ハンガー(3)及び中ハンガー(4)に吊るしたコート、パンツ、スカート等の長尺の衣服の片端を、裾ハンガー(2)先端部に設けた回動自在のピンチ(5)で挾止する。尚、裾ハンガー(2)は肩ハンガー(3)に吊るした衣服と嵩張らないよう肩ハンガー(3)よりも前方に湾曲成形させる。衣服を吊るしたハンガーをビニール製等で

できた衣裳バッグ(6)内側把手孔(7)上部に有したフック用リング(8)に係止させる。尚、把手孔(7)はフ

フック(1)内縫と同形状に成形する。

(考案の効果)

以上説明してきた如く、本考案は取手孔(7)から手を通してハンガーのフック(1)と一緒に持つため、衣服の重量により袋が破れる心配がない。更に従来の一見して衣服を入れていると判る衣裳ケースを使用しなくても、本考案は外見から通常の袋物と何ら変わらない為、何時如何なる場所においても人目を気にする必要が無い等多大な効果を奏するものである。

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT OR DRAWING
- BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- GRAY SCALE DOCUMENTS
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images
problems checked, please do not report the
problems to the IFW Image Problem Mailbox**